

教科	科目	学年	単位数
保健体育	体育	3	3

1. 学習目標

体育分野

- ・体を動かす楽しさや心地良さを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。
- － 体づくり運動に自主的に取り組むと共に、体力の違いに配慮しようとする事、自己の責任を果たそうとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。
- － 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

保健分野

- ・個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2. 評価の観点（体育）

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康 - 安全について理解すると共に、技能を身につけるようにする。</p> <p>各種の運動におけるルール理解や基本的な動作の確認、授業中のテストなどにより総合的に評価する。</p>	<p>自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断すると共に、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>新体力テストの結果や運動でのまとめとなるゲーム中の参加状況を総合的に評価する。</p>	<p>生涯に渡って継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> <p>授業内容を振り返り、個人やチームの成長を確認し、評価することで、それを次回の授業に繋げようとする姿勢など総合的に評価する。</p>

評価の観点（保健）

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<p>個人及び社会生活における健康 - 安全について理解を深めると共に技能を身につけるようにする。</p> <p>定期試験や実技試験により授業での内容を理解する力を総合的に評価する。</p>	<p>健康についての自他や社会全体の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断すると共に、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>定期試験やレポート等課題提出により授業での内容を理解し、説明できる力を総合的に評価する。</p>	<p>普段の生活に密接した内容を学ぶことで自らの健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、社会全体の動きを理解することで明るく豊かで活力ある生活を営むための態度を養う。</p> <p>授業への参加状況や課題への取り組みの状況により総合的に評価する。</p>

3. 学習内容（以下参照）

4. その他

- ・種目・競技の専門的な学習よりも、基礎的な体力の向上と運動能力の向上に重きを置く。
- ・体づくり運動・集団行動・体育理論においては年間を通じて行うものとする。
- ・種目・内容に関しては設備の都合上、学年の内容や時期替えて実施することがある。
- ・同一学年だけでなく他学年と合同で協力して授業・体育行事を行う。
- ・リーダーとして行事の規格運営をする。

体育分野

	単元・試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
器械運動	マット運動 きれいな演技を評価する。	側転 ロンダート	<ul style="list-style-type: none"> ・技をきれいに、正確・安全に演技する。 ・側転は左右両方出来るように練習する。 ・補助者や補助マットを利用しながら安全に技能を身につける。 ・互いに協力して補助をする。 ・きれいに演技する。
陸上競技	陸上競技 記録の向上を評価する。	短距離・中距離 跳躍	<ul style="list-style-type: none"> ・より速く走る、より長く走り続ける、より高く跳ぶ、より遠くに跳ぶなどの動作を効率良く行い基礎体力・能力の向上を目指す。
球技	バレーボール 総合的なバレーボールの技術の修得を評価する。	パスの技術の発展 オーバーハント・アンダーハント・パス・サーブの発展 アタック・ブロック ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・相手との攻防の中で連携してパスを回す。 ・相手の弱点を考え、狙ってサーブを打つ。 ・ゲームの中で仲間と協力してプレーする。
球技	ソフトボール ゲームの中でのバッティング・守備を評価する。	バッティング技術の向上 チームでの連携 ピッチングの技術 ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールのルールを覚える。 ・状況判断で確実にアウトをとる。 ・仲間と協力してプレーする。
球技	バスケットボール 動きの中でのパス・ドリブル・シュートを評価する。	ドリブル・シュートの連携 ゲーム展開の中でのパス・ドリブル・シュートの利用 ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・シュートにつながるようパス・ドリブルをゲームの中で連携して利用する。 ・ルールを守り仲間と協力してプレーする。
球技	サッカー 動きの中でのパス・ドリブル・シュートを評価する。	ドリブル・パスの応用 正確なシュート ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・シュートにつながるようパス・ドリブルをゲームの中で連携して利用する。 ・ルールを守り仲間と協力してプレーする。

武 道	柔道 受身の技術の修得を評価する。	受身の反復・習熟 寝技・乱取り 立ち技(組み方) 立ち技(大腰・背負い投げ・大外刈り)	・スピードをつけた受身を意識する。 ・寝技の攻防を身につける。 ・立ち技の引き手・釣り手を理解する。 ・受けが重要であることを理解する。
ダ ン ス	ダンス 制作・協力・発表を評価する。	ダンス	・曲を選択し振り付けを考えダンスを完成させる。 ・自分達が踊れるようになるとともに、下級生を指導し、全員で発表が出来るように配置、構成などを考える。

保健分野

	単元	授業内容	その他(到達目標・学習のポイントなど)
	健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。	健康の成り立ちと疾病の発生要因 生活行動・生活習慣と健康 喫煙, 飲酒, 薬物乱用と健康 感染症の予防 保健・医療機関や医薬品の有効利用 個人の健康を守る社会の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> - 健康の成り立ち・主体と環境の要因によって疾病が発生することを理解する。 - 規則正しい生活の継続と生活習慣の乱れが生活習慣病につながることを理解する。 - 心身への様々な影響、健康を損なう原因を理解し心理状態や人間関係・社会環境に適切に対処できるようにする。 - 感染症を知ることで、発生源、感染経路、主体への対策による感染症の予防について理解する。 - 保健・医療機関の利用、医薬品の正しい使い方を理解する。 - 個人の健康と社会的な取り組みについて理解する。